

有限会社サンエッグ  
代表取締役社長 殿

全農家畜衛生研究所  
クリニック九州分室長

(担当獣医師 小野麗華)

家畜衛生検査報告書

採卵鶏サルモネラコース (GPセンター環境の微生物検査)

検査結果について下記のとおり報告しますので、報告書を当該農場に送付するとともに、改善策の検討・実施等よろしくご指導ください。

記

受付番号 : 2020-11166

採材年月日 : 令和3年1月20日

受付年月日 : 令和3年1月22日

対象農場名 : 有限会社 サンエッグ

採材・指導担当者 :

検査内容・検体数 : ふき取り 13個

検査項目 : サルモネラ分離、一般生菌数、大腸菌群数

追加検査項目 :

検査成績(データ) : 別紙のとおり

検査結果にもとづく評価と改善点 :

いずれの箇所からも、サルモネラはもちろん大腸菌群も検出されませんでした。一般生菌は洗浄ブラシなどで、極めてわずかに検出されましたが、全く問題ありません。

以上

採材日 令和3年1月20日

検体受付番号 : 2020-11166

検体No	採材部位	サルモネラ		一般生菌数		大腸菌群数	
		分離	評価	cfu/cm <sup>2</sup>	評価	cfu/cm <sup>2</sup>	評価
1	原産庫の床	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
2	トレー搬送ベルト	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
3	オートローダー吸引ゴム	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
4	オートローダー下の床	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
5	給卵部ローラー	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
6	洗浄ブラシ(心棒含む)	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
7	乾燥ブラシ	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
8	給卵部のローラー	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
9	卵キャッチャー①	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
10	卵キャッチャー②	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
11	バックに落とすキャッチャー	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
12	バック搬送ベルト	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好
13	製品保管庫の床	-	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好	<1.0 × 10 <sup>1</sup>	良好

<検査法>

一般生菌数、大腸菌群数 : スパイクルプレート法  
サルモネラ分離 : 増菌培養法

GPセンタークリニック の評価基準	①一般生菌数	良好	10 <sup>3</sup>	cfu/cm <sup>2</sup>	未満
		注意	10 <sup>2</sup>	cfu/cm <sup>2</sup>	以上
		10 <sup>1</sup>	cfu/cm <sup>2</sup>	未満	
(過去2年のデータ集積にもとづき、 GPセンター検査データの活用により 設定することを目的として、各自に 標準化されたもの)	②大腸菌群数	良好	10 <sup>3</sup>	cfu/cm <sup>2</sup>	未満
		要改善	10 <sup>2</sup>	cfu/cm <sup>2</sup>	以上
	③サルモネラ分離	良好	(-)		
		要改善	(+)		

上記評価基準にもとづくコメント

- サルモネラは陰性です。
- 一般生菌数は一部の採材部位で菌が検出されました(表記上は1.0×10<sup>1</sup>以下)が、問題のないレベルで良好です。
- 大腸菌群数も全工程検出限界であり良好です。

今後もこの数値を維持できるよう適切な洗浄消毒に心がけましょう。

以上